

地域のもりから学ぶ森林づくり 平成23年度 第5回 森林教室

清々しい秋の晴天に恵まれた9月27日(火)の森林教室は、定山溪中学校の皆さんとみずもり会議の方総勢33名皆さんと一緒に行いました。今回のテーマは「森林で種子採取と郷土樹種を学ぼう」です。第1回の森林教室でもお世話になった、林木育種センターの植田遺伝資源利用課長と小園係長を講師に迎えて、エゾマツとアカエゾマツの種の採り方を教えて頂き、実際に採取しました。続いて、当センターの落合自然再生指導官から郷土樹種の説明をしました。その後、林道をゆっくり散策しながら、森林の秋を楽しみました。



安全第一！ヘルメットをかぶって身支度を調えます。



植田課長が、枝の切り方の見本を見せてくれました。



実際にやって見ると、かなり難しい。二人で力を合わせて。



見ている方も力が入ります。



数々の困難を乗り越え、ゲットしました！！

釣り竿のような、種子捕り棒は、「グラングラン」して、狙った枝にたどり着くまでが大変！！
上をずっと見ていたので、肩がこりました。
中学生はそんなことないかな～？



みんなで切った枝から球果をはずします。



本日の成果は、このとおり！
この球果を乾燥させて種子を取ります。



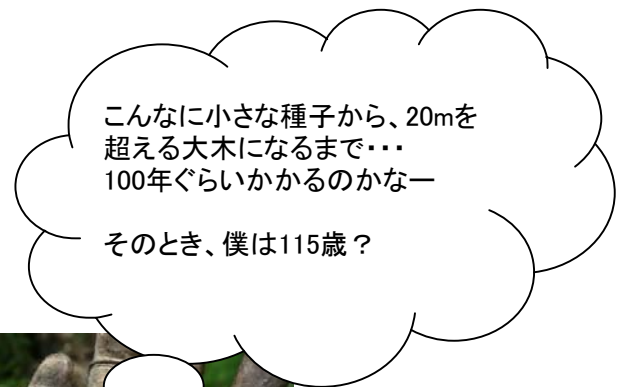
落合指導官が郷土樹種について説明。



真剣に勉強中。



さわやかな秋の散策を楽しみました。



こんなに小さな種子から、20mを
超える大木になるまで・・・
100年ぐらいかかるのかなー

そのとき、僕は115歳？

